International activity reports

国際交流情報　Vol.7
2016.6

平成28年度
第1回国際交流セミナーを5月6日に開催しました

今年度は、国際交流に積極的に取り組んでいる学生をスピーカーに迎えて開催します。

第1回目は、4年の圓山さんが海外スタディツアーでの経験を学生・教職員合わせて15名の参加者に語ってくれました。

圓山さんは、1年生の時から休暇を活用してカンボジア・ベトナムなどの海外スタディツアーに参加しています。

「初めてのベトナムのツアーでは、戦争の歴史などを学び孤児院で活動をしました。

活動を通して障がい者福祉についての知識不足、言葉の壁や文化について強く考えるきっかけとなりました。その後は国内でのボランティア活動も行い、さらに他の国も見てみたいと思うようになりました。

次に行ったカンボジアでは、様々な専門分野や職種の学生・社会人のスタディツアー参加者と出会いました。カンボジアでは、女性の就労支援プロジェクトを行っているNGOの活動現場や孤児院などを訪問しました。

ツアー参加者で協力して、“孤児院の子どもたち自身が誕生日会を開く”ことを支援し、様々な視点から意見を出し合って協力したことはとても充実した時間でした。」

圓山さんの話によると、「目的を持った海外スタディツアーの参加は、おすすめ！」ということです。看護関係以外にも友達ができて視野が広がり、その友達との交流が今も続いていることは自分の宝であると教えてくれました。

大学の講義だけでは学ぶことができないことを見て聞いて感じて味わって・・・貴重な財産を積み上げている様子は、とても生き生きとしていました。チャレンジ精神を持って行動する勇気を持ちづけて欲しいと思います。

担当：日本赤十字広島看護大学　国際交流委員会